



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2010~2011(平成 22 年~23 年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日

2010~2011 RI テーマ 「地域を育み、大陸をつなぐ」

《本日のプログラム》 8 月 23 日 12:30

普通例会

直前会長・幹事卓話

《次回のプログラム》 8 月 30 日 12:30

普通例会

会員増強拡大プログラム

《例会日:毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場:釧路全日空ホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 石川 俊二 幹事 三木 克敏

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2010年8月23日(月) 第6回 通算1889回

【点鐘】 石川会長

【ロータリーソング斉唱】 「それでこそロータリー」 ソングリーダー:金田会員

【会長挨拶】 石川会長



今年度がスタートしまして早くも1ヶ月半が過ぎました。いろいろな行事が続きまして、落ち着いた例会は本日が初めてのような気が致します。お盆も過ぎまして例年ですと涼しい風が吹くはずの釧路地方ですが、今年は例年になく暑い日が続いております。体調には気をつけていただきたく思います。皆様のお手元にも届いていると思いますが、ガバナーマンスリーの2号の中に『たった3人のロータリークラブからのメッセージ』という表題の内容が光っております。お帰りになってからで結構ですので一読、願いたく存じます。又、柴田ガバナーの人柄を表すかのような行書体での文面も読者側に読ませようとする、ひきつける力があります。

次に、報告であります。鶴田曠貴会員を今年度名誉会員に推挙いたしました。鶴田会員におかれましては体調不良と、治療に専念することを考えると例会への欠席が多くなることで、会への迷惑をかけることと退会を申し出されましたが、経験年数の長い会員と理事会で検討をした結果、在籍 38 年と会長経験及び会への貢献度を考えると名誉会員への移行がふさわしいのでは、という意見が多く出されまして、決定となりました。ここに、ご報告申し上げます。

次に先日の例会に、東京西ロータリークラブ会員の玉山和夫さんという方が『西ロータリークラブの歌』というのを携えられてメーキャップされました。ここで、玉山さんの人となりをご紹介します。1919年生まれの恩歳91歳というご高齢の方ですが、北海道大学で博士号とられイギリスの会社にビルマ戦線の研究を始められ退職後日英協会の事務局長として日英国民の和解のためにビルマ戦線に参加された英国軍人の日本訪問に尽力され、1998年大英帝国勲章MBEが授与された。ということであります。著書に『日本兵の話 ビルマ戦線 戦場の真実』があります。玉山さんは釧路が好きで夏の数週間を毎年釧路で過ごしているとのことであり、来年でも機会があればスピーチをしていただければと考えております。会長挨拶を終わらせていただきます。

【幹事報告】 三木幹事

1. 国際ロータリー第2770地区よりロータリーカード入会案内が届いております。
2. 米山梅吉記念館より会報等が届いております。
3. 釧路市より観光と経済効果に関する調査結果パンフレットが届いております。
4. 釧路青年会議所より会報等が届いております。

【委員会報告】

○クラブ奉仕委員会 田村委員長

地区大会(10/1～10/3)の参加者25名出席する報告がありました。

○例会運営委員会 加藤委員長

9月プログラムのご案内がありました。

○広報委員会 八村委員長

ロータリーの友8月号の掲載記事のご紹介がありました。

五大奉仕部門(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕)

○親睦活動委員会 山本委員長

[ニコニコ献金内訳]

- | | |
|-----------|--------|
| ☆本人誕生 | 鶴田会員 |
| ☆奥様誕生 | 佐藤和彦会員 |
| ☆長期欠席のお詫び | 鶴田会員 |



【本日のプログラム】 担当 クラブ奉仕

●直前会長・幹事卓話

《佐藤和彦直前幹事卓話》



在籍10年にして今回3回目の卓話となります。1回目の卓話は入会して間もない頃に私の仕事についてお話させていただきました。2回目は確か6年ほど前、仕事の話をお話を8割、趣味の話をお話を2割の感じで、お話させていただきました。今回の卓話はプログラムでは前年度の会長・幹事の卓話となっておりますので前年度幹事としての1年間の振り返りと、自分がロータリーに10年間在籍して感じた事をお話したいと思います。まずは、前年度は会員の皆様にご協力いただきまして、無事に1年間を終了できたことを感謝申し上げます。終了したと

申し上げましたが、山本年度の締めくくりである「活動報告書」がまだ完成しておりません。出来るだけ早めに会員の皆さんへお届けしたいと思っております。現在急ピッチで作製しておりますので、今しばらくお待ちください。

それでは山本年度の1年の振り返りですが、昨年の7月の幹事就任挨拶で申し上げたことなのですが、私が山本会長の幹事を受けた理由についてまずお話ししたいと思います。私と山本前会長は職業分類上では、現在異なる分類ではありますが、実際は100%同じ職業であり同じ保険会社の商品を取り扱う保険代理業であります。私がロータリーに入会する数年前より山本前会長とは保険会社のフロアで顔を合わせることも話す事も多く、色々と先輩代理店として面倒を見ていただきました。確か私が独立して3年目の34歳の時に、職業人としての幅を広げるための模索をしている中、JCの入会の薦めや同友会への入会の薦めなどの話があり、ロータリークラブ会員の山本前会長へJCとロータリーの違いについて質問したところ、いつもぶっきらぼうな山本さんが、ニコニコとロータリーとライオンズの違いなど、親切に教えてくれましたのを今でも覚えています。そしてその話の最後に・・・やっぱりロータリーだよ。と山本さんがニコニコと笑いながら言い、私を誘っていただきました。

私が入会するにあたり、当時のロータリーには「一業種一会員」の規定があり、一つのクラブに同じ業種の人は入会できないと聞かされ非常にビックリしました。そこで、私はどうなるのだろうか？その時、山本前会長が職業分類をフィナンシャルプランナーにして入会させるから心配するなどと言われ、無事に入会することができました。その時はロータリーについて当然右も左も分からない状況で入会したのですが後からよく考えると、100%同業者であるライバル的な立場である私を入会させてくれた山本前会長には大変大きな「借り」が出来てしまったと思いました。

それから7年後に当時の加藤会長から会長ノミニーの指名を受けた山本前会長へ借りを返すためには自分が幹事を受け、1年間補佐役として返すしかないかな・・・と考え、自ら山本前会長へ申し出ました。山本年度がスタートし年度のテーマを「広げよう友愛の輪」と山本前会長は掲げました。クラブ内での友愛を常に考え、山本前会長は実践していました。そんな中、私自身のテーマは「借りを返そう」として、いかに山本前会長に借りを返すか考えた一年でした。通常、例会内では会長報告として、会長が報告するべき項目を報告して終っていたのを山本年度では会長挨拶として、会長の「言葉」で挨拶をしていただきました。年度が始まってビックリしたのですが、こんなに挨拶が上手だったんだと感心しました。例会時の会長の役目として、前年度は十分に山本会長の「色」を出せたのではないかと思います。

年度の一年間に振り返りになりますが、大きな事業として40周年記念式典があり少ない会員でも、他に見劣りしない立派な式典を大成功に終えたのも、自分が幹事として関わった年度で経験できたのも大きなものでした。この経験は在籍していれば、是非とも10年後の50周年記念式典に生かしたいと思っております。それと地区大会では20名を超え

る参加者で、大いに盛り上がりました。また、残念なことではありますが、年度内に数名の会員が退会されました。今のロータリーは入会するのは非常に簡単になりましたが、反面退会する難しさを目の当たりにしました。様々な退会の理由や背景があると思いますが、やはり後悔をしない退会の仕方を選択するべきではと考えさせられた1年でした。

それと私にとって1番残念なことは出席率の低下でした。こういった経済状況であり、当然にロータリーよりも事業を優先することは当然のことです。しかし、魅力のある例会、楽しい例会、出席したい例会を意識してもっともっと工夫して取り組めば、あと少しは出席率が向上したのでは？と今でも悔やまれます。

最後になりますが、私が約10年西クラブにお世話になり、感じたことはロータリーには「貸し借り」の精神があるのでは、と考えました。職業人の集まりですから、当然仕事上の貸し借りもあるでしょうし、ロータリーの組織上の貸し借りもあると思います。借りたモノは返す、そして貸す、そしてまた借りる、そして返す。その繰り返しなのかな・・・と思いました。前年度、私が幹事として皆様に協力していただき、無事に1年間終えたのも西クラブへ借りだと思ひます、今度はこの借りを西クラブへ返す気持ちで、在籍できる限り、貢献していきたいと思ひます。ありがとうございました。

《山本直前会長卓話》



一年間を振り返ってのお話をする前に無事に年度を終えることが出来ましたことをご協力をいただきましたクラブの皆様にお礼を申し上げたいと思ひます。また、一年間横で支えていただいた佐藤幹事、石川副会長、伊藤副幹事、には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げたいと思ひます。私が西クラブの会長を引き受けるに至った経緯からお話をさせていただきます。当時、加藤さんが会長を引き受けるときに酔っ払って西クラブの為という言葉は何度も口に出しながら会長を指名されたらぜひ引き受けるようにと言われました。加藤さんは酔っ払っているのだから次の日には忘れるだろうと思ひまして、加藤さんの勢いに負けて西クラブの為という言葉は何度も言うものですから自分も

そのとおりと話を合わせていました。ところがそのときのことをしっかり覚えていたらしく反論のしようもなく会長を引き受けることになりました。また、この時の話は説得されているというより説教をされているという感じでした。後で気が付いたのは、自分の年度でクラブ創立40周年の記念式典があるということでした。

また私が会長を引き受けるといったときに佐藤和彦さんが山本が会長を引き受けるのであれば自分が幹事をやってやるということになりました。それからは、理事、役員を決めるときには、幹事になっていただく佐藤和彦さんに相談しながら決めていきました。副会長には自分にとってロータリーの兄貴分の石川さん、SAAには自分が分区幹事という貴重な経験をさせていただいた張江さん、職業奉仕には私に会長というすばらしい機会を与えていただいた加藤さん、社会奉仕には私がロータリーに入会するときにバッジをつけていただいた当時の会長 鶴田さん、国際奉仕と会計には近い将来西クラブの大黒柱になっていただく佐藤雅之さんと斉藤静枝さん、また各委員会の委員長さんは親睦活動委員会の委員長は現在幹事の三木さんに快く引き受けていただきました。また、柴田会員には自分から名乗り出て広報委員長を引き受けていただきました。新世代委員長は大坂会員がもう一度青少年のために新世代委員長をやるといういただきました。今申し上げたとおり、本当に周りの人たちに助けられた年度であると思ひました。

さて、私の年度が7月6日に始まりまして、8月1日に今年も開催されました阿寒町の赤いベレーにて野遊会のキャンプ、8月3日にはガバナー公式訪問例会、9月11日から9月13日にかけては旭川における地区大会、この地区大会には遠方にもかかわらず多くの会員、ご夫人の参加をいただきました。手配いただいた石川副会長に感謝申し上げます。また私の年度で一番思い出に残る行事は5月22日に行われました西クラブ創立40周年記念式典、記念懇親会でした。張江実行委員長を先頭に西クラブらしいといわれるようなすばらしい記念式典を終えることができました。

た。先ほども申し上げたとおり、多くの周りの方々にご協力をいただき1年間を終えることができました。会長年度が終わっているいろいろなことがあって大変でしたねと言われましたが、大変よりも周りの皆さんに協力をいただき楽しかったあるいは充実したロータリーであったというほうがはるかに大きいと感じています貴重な勉強をさせていただいたクラブの皆様にお礼を申し上げたいと思います。

《例会運営委員会 佐久間 委員長》

8月23日 在籍数 32名 出席免除者 5名 出席義務者 27名 「編集:加藤会員」
出席者 20名 欠席者 12名 出席率 62.5%

8月9日 修正出席率 71.9%

会報委員長: 櫻田 美香 副委員長: 斎藤 静枝
委員: 加藤 精二 八村 弘英 佐藤 雅之 小泉 和史